

イタリア Lafert社の買収について

住友重機械工業株式会社
取締役 専務執行役員 PTC事業部長
田中 利治

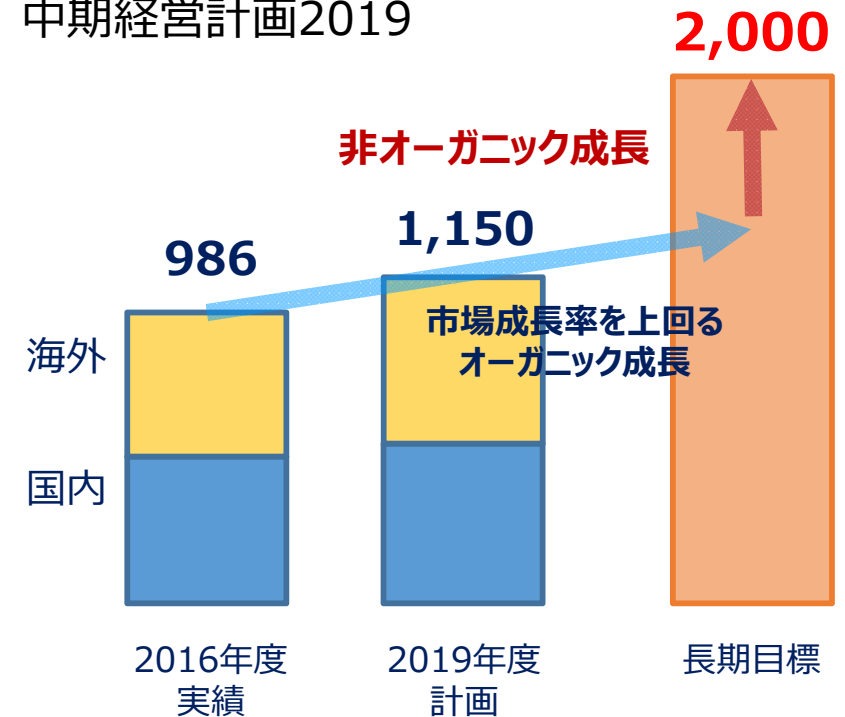
2018年5月25日

PTC事業の成長目標とLafert社買収の目的

1) PTC事業の成長目標

- 非オーガニック成長も含め、特に海外において成長を果たし、売上高2,000億円を目標とする。
- 特に成長が期待される「ロボット/位置決め」、「搬送物流」、「食品飲料機械」を成長のための重点分野に設定する。

中期経営計画2019



売上高、単位：億円

2) Lafert社買収の目的

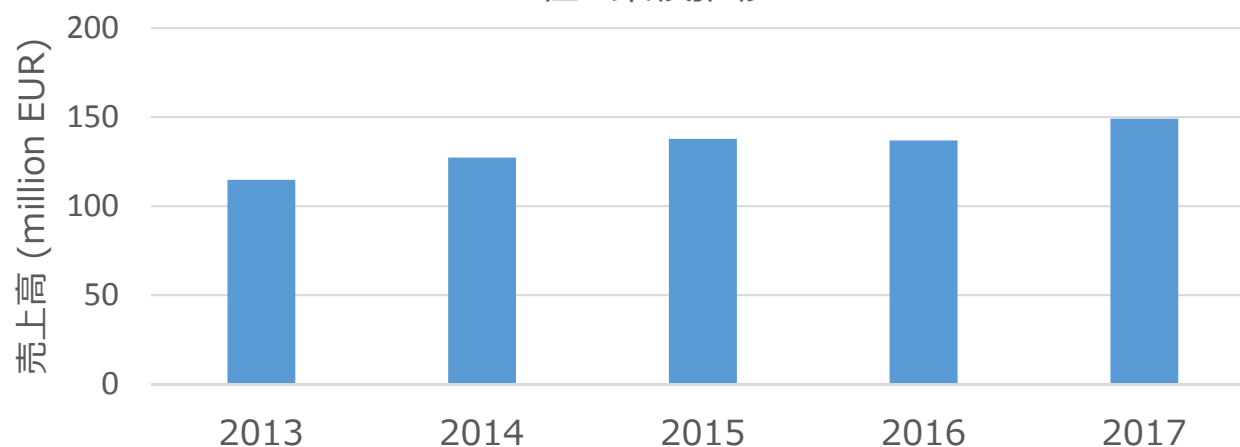
- 上記重点分野で技術/市場の両面を牽引する欧州を起点として、事業を強化しプレゼンスを向上させる。
- 必要不可欠な、高効率モータ、サーボモータ・ドライバに関する技術と生産拠点を獲得する。
- 電機・制御分野への事業領域拡張の第一歩とする。

Lafert社の概要



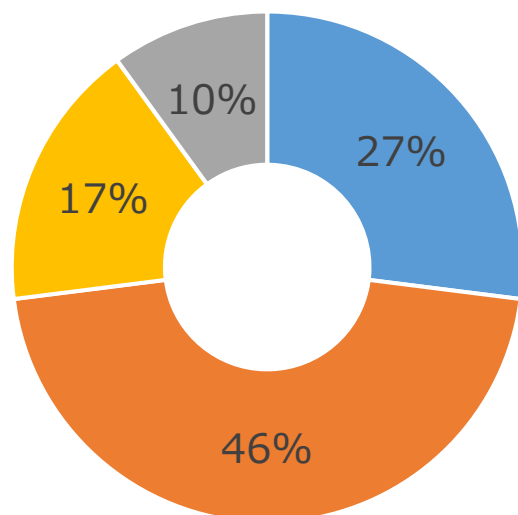
- 設立 : 1962年10月25日
- 本社 : イタリア ベネト州 San Dona di Piave市
- 事業内容 : モータおよびモーションコントロール機器の製造・販売
- 上場/非上場 : 非上場
- 売上高 : 149.2 Million EUR (約200億円) (2017年実績)
参考 : EBITDA率 10%以上 (2017年実績)
- 従業員 : 796人 (2017年9月時点)
- 製造拠点 : 6 (イタリア 4, スロベニア, 中国)
- 販売拠点 : 6 (ドイツ, イギリス, フランス, スペイン, オーストラリア, シンガポール)

Lafert社の業績推移



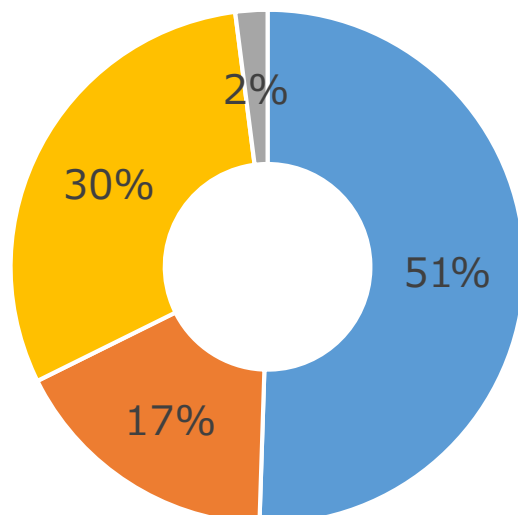
2016年実績

地域別



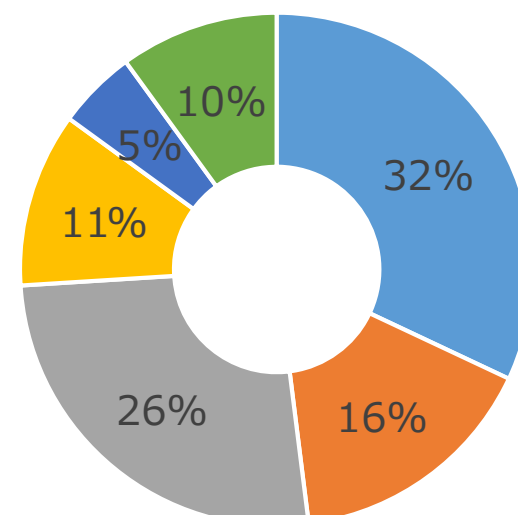
- イタリア
- その他欧州
- 北米
- その他地域

製品別



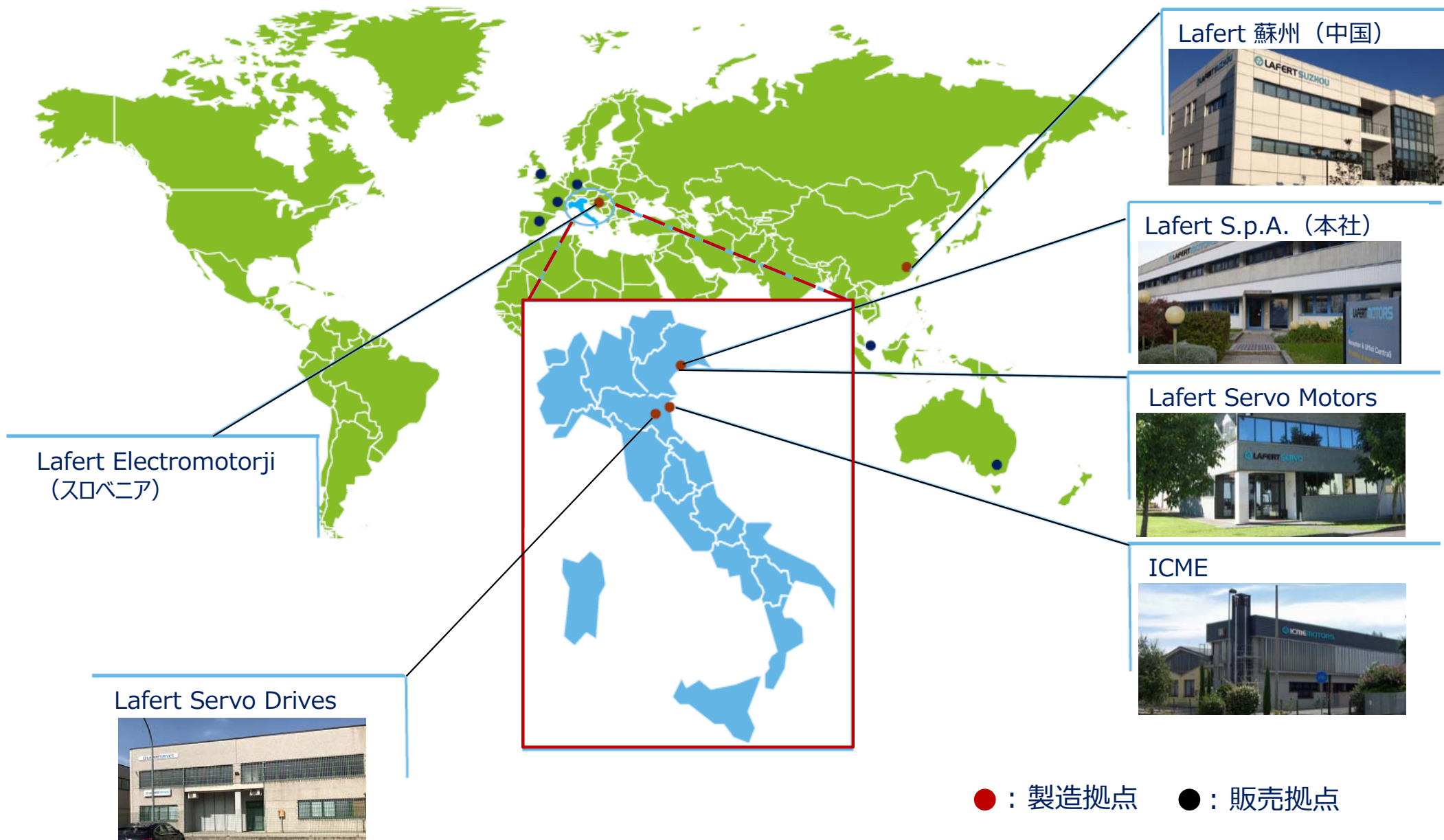
- 誘導モータ
- 高効率磁石モータ
- サーボモータ、ドライバ
- その他製品

用途別



- 産業機械
- 空調
- インバータ
- 材料ハンドリング
- ファン・ポンプ
- 再生エネルギー

Lafert社の拠点



Lafert社の製品ラインアップ

高効率磁石モータ



IE4/IE5クラス
磁石モータ



インバータ搭載型
磁石モータ



ファンモータ

誘導モータ



IE2/IE3
高効率モータ



単相モータ



特殊モータ

ブレーキ付モータ



ブレーキ付モータ

サーボモータ



サーボモータ



ダイレクトドライブ
モータ



サーボドライバ



サーボドライバ



バッテリー電源用
ドライバ

エレベータ用モータ



小型エレベータ用モータ

1

卓越した高効率技術

- IE3誘導モータに加え、更なる省エネを可能にする、IE4～IE5クラスの超高効率化技術



IE4/IE5クラス磁石モータ

2

小型高性能なサーボモータ

- 小型で高性能なサーボモータの技術
- オートメーションやロボット、繊維機械などで広く採用



サーボモータ

3

顧客要求に柔軟に対応できるカスタマイズ技術

- 様々な仕様や要求に、高いレベルで柔軟に対応できるカスタマイズ力と製造力



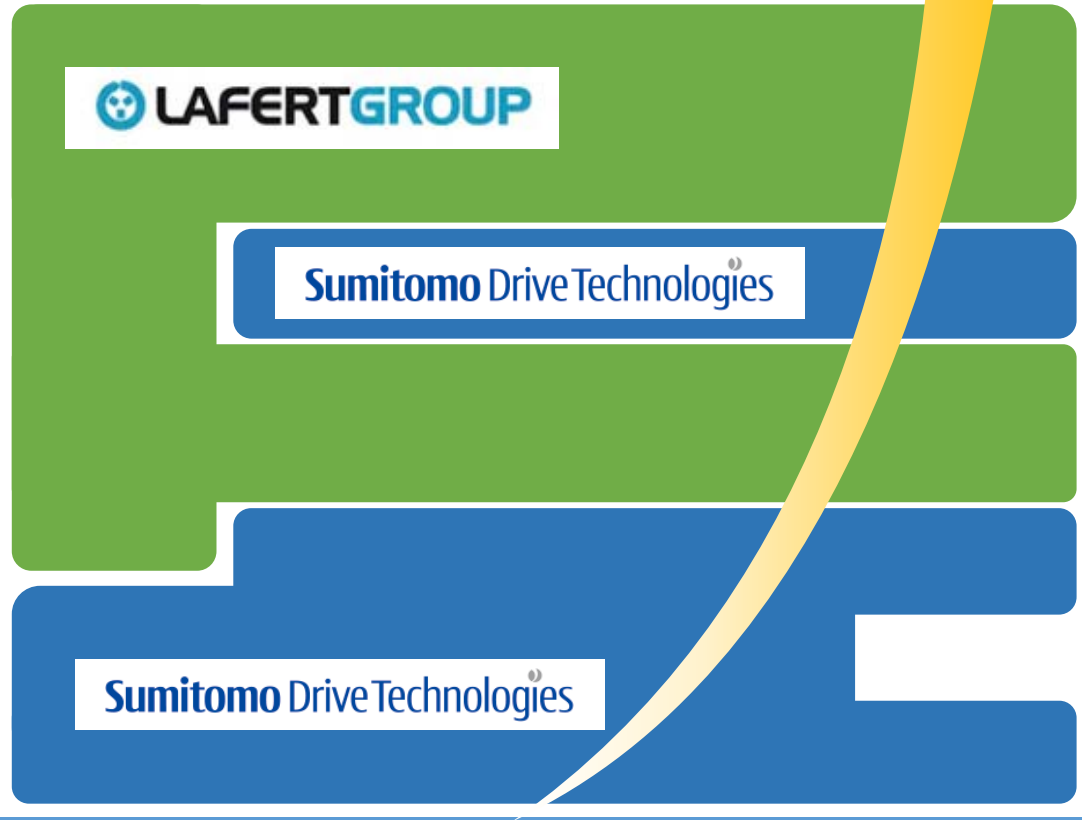
各種特殊モータ

Lafert社とPTCの補完性

Lafert社を統合することで幅広い領域をカバーでき、上位の制御やソフトウェアへの展開も可能



コントローラ / ソフトウェア分野
- 社内外の組織・企業との協業、パートナーシップ

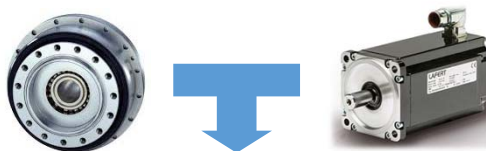


期待されるシナジーと重点分野

PTCとLafert社は高いシナジーが期待でき、ギヤとモータ/ドライバを組み合わせることで、ユニークで競争力のある製品の提供が可能



IE4/IE5クラス高効率モータ
& 高効率ギヤモータ



精密ギヤ一体型
サーボアクチュエータ



コンパクトギヤモータ
(例 AGV用)

Energy Efficiency

ポンプ・ファン・
コンプレッサ



エネルギー



搬送物流



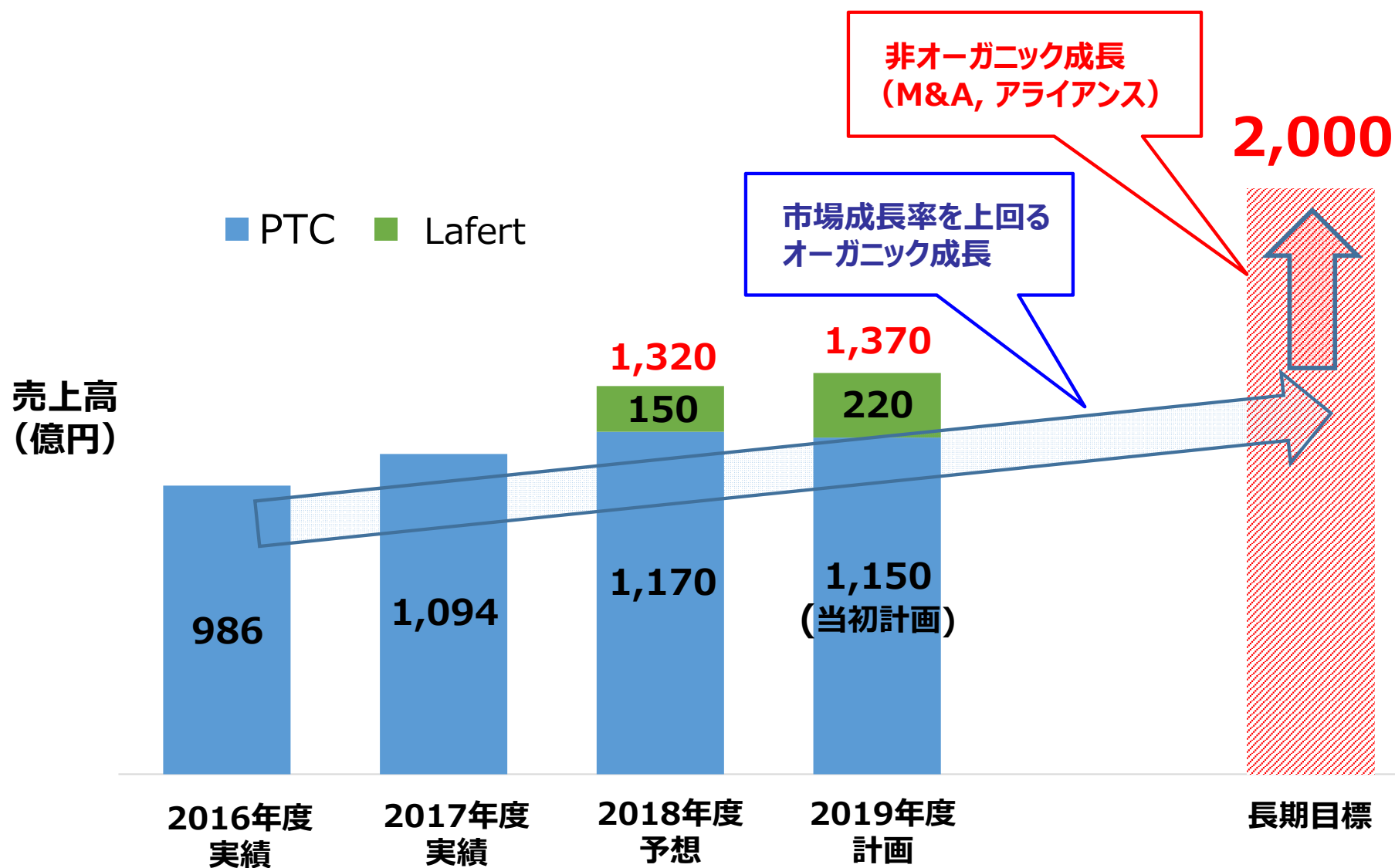
ロボット、位置決め



食品飲料機械



買収後の今後の売上規模



為替レート 1 EUR = 130円で算定
2018年度はLafert社の9か月分の実績を連結予定

2018年

5月25日 : 株式譲渡契約締結

6月下旬 : クロージング (予定)

7月～12月 : PMI (買収成立後の統合プロセス) (予定)



将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。